

「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が北九州港に初寄港しました！

平成29年7月2日（日）午前7時、ひびきコンテナターミナルにロイヤル・カリビアン・インターナショナル社のクルーズ船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が初寄港しました。同船は、平成15年11月から就航を開始し、当時は世界最大のクルーズ船として人気を博していました。

入港後、約3,700名の乗客たちは97台の観光バスに分乗し、響灘緑地（グリーンパーク）や小倉城、門司港レトロでの観光とショッピングを楽しみました。船内では、初入港を記念し、関係者による歓迎式典を開催しました。北九州市からは歓迎の意を込めて、小倉城が描かれたスチールアートの記念盾と日本人形、花束を贈呈しました。また、ハンセン船長からは返礼の記念盾を頂きました。式典後の船内見学では、吹き抜けのショッピングモール「ロイヤル・プロムナード」や本格的なアイススケートショーを楽しめる屋内スケートリンクを見学。ファンネル（煙突）の下には、ボルダリングの壁も設置されていました。

また、クルー向けのおもてなしツアーには90名が参加し、高塔山や若松恵比須神社など、南海岸の観光スポットを巡りました。若松恵比須神社では、宮司によるお祓いを行い、今後の航海安全とクルーの家内安全を祈願しました。参拝後、クルーたちはおみくじを引いたり、絵馬に願い事を書いたりと伝統ある日本文化を体験しました。

出港時は、福岡県立北筑高等学校吹奏楽部の皆さんによる、元気いっぱいのダンスと迫力ある演奏でお見送りしました。午後5時の出港に合わせファンファーレを鳴らすと、船から大きな汽笛が返ってきました。「謝謝（ありがとう）！」「再見（またきてね）！」と声を掛け合いながら、大きく旗を振ってお見送りしました。



「マリナー・オブ・ザ・シーズ」 全長：311m 総トン数：138,279 t



和やかな雰囲気の中行われた歓迎式典



オプションツアー（若松恵比須神社）でのお祓いの様子



北筑高等学校吹奏楽部による演奏で盛大にお見送り